



前原高校だより

2021年12月23日
第14号
校長 大城 健

明日2学期終業式、有意義な冬休みを！

2学期もコロナ禍の厳しい中での学校生活となりました。学園祭(舞台祭)中止をはじめ学校行事も大きな影響を受け、生徒達もたいへん辛い思いをしました。しかし逆境の中でもスポレク大会の実施や、各部の活躍



があり、前高生の逞しさを感じました。九州大会には空手、野球、剣道、バドミントン、放送、書道が出演しています。英検も難関の準1級に1年村吉直太君、山城空君、3年マクランイリーザさん(学校壁いっぱい横断幕)が合格するなどの快挙がありました。12/25から冬休み、有意義な時間を
←(授業風景:世界史生徒発表) 過ぎ、新たな気持ちで新年を迎えよう!



校内マラソン大会、県総合運動公園にて開催！

12/3、例年学校から宇堅ビーチのコースで実施していた校内マラソン大会を県総合運動公園にて初めて開催しました。当日は天候にも恵まれ爽やかな涼風のもと生徒達はよく頑張ってくれました。学級対抗の部では、男子1位2-1、2位2-5、3位2-7。女子1位2-3、2位1-1、3位2-1。2年生、また総スポ(1組)の活躍が目立ちました。個人の部では、男子1位(3-1)前森琉志、2位(2-1)荻堂球道、3位(2-1)石木戸圭介。女子1位(1-5)山内夏花、2位(1-4)木谷亜莉沙、3位(1-7)金城沙南。
(陸上競技場にてスタート)→



芸術鑑賞「学校寄席」落語の魅力満喫！



12/2、殆どの生徒が初めての落語鑑賞、そこで「落語入門編」として「寄席」の説明、声の出し方、表現方法など楽しく教えてもらい、楽しく落語を鑑賞することができました。「体験コーナー」での落語体験、またハラハラドキドキの曲芸(傘回し、皿回し、包丁芸)も楽しめました。感想にも「実際に見ると迫力があり、また見たいと思った」「コロナ禍の中、心から
←(盛り上がった体験コーナー) 楽しめた」など心に残る行事となりました。

前原カップ開催、クラスの絆深まる！

スポーツに親しむことを通してクラスの絆を深める「前原カップ」。今年は1年がバスケット、2年3年がバレーを行い、大いに盛り上がりました。1年男子(優勝 1-1)(準優勝 1-4)女子(優勝 1-2)(準優勝 1-6)、2年男子(優勝 2-7)(準優勝 2-1)女子(優勝 2-4)(準優勝 2-8)、3年男子(優勝 3-1)(準優勝 3-3)女子(優勝 3-6)(準優勝 3-5)。
(勝利の瞬間「ヤッター！」)→



2年進学ガイダンス開催！



2年生の「総合的な探究の時間」においてキャリア教育の一環として、様々な学問分野の学校関係者を招いて、学習会を開催しました。医療、語学、法律、経済、福祉、教育、工学、スポーツ、食育、芸能など生徒達は自らの希望
←(進路ガイダンス風景) 進路に応じたテーブルでしっかりと学びました。



感謝！照屋寛徳さん、後輩達に図書費寄付！

本校卒業生の照屋寛徳さんから卒業した兼原小学校、具志川中学校、前原高校にそれぞれ図書費が贈られました。(各100万円)苦勞して大学を卒業し、弁護士、国会議員として活躍された寛徳さん。読書が人生において大きな力になったと語られ、後輩に励ましを与えて頂きました。